

第10回筑後川トライアスロン記念大会

2009年8月2日



第10回筑後川トライアスロン記念大会開催趣意書

この度、地元アスリートたちの熱意によって、福岡県久留米市にて毎年8月に行っております「筑後川トライアスロン大会」が、本年10周年の記念すべき開催を迎えることとなりました。

この大会は2000年に初めて産声を上げた訳ですが、今日の大会に至るまでにはその前身の「久留米トライアスロン」の存在を抜きには語れません。トライアスロンという競技が、世界で初めて誕生した1977年のアイアンマンハワイ、そのわずか5年後の1982年に久留米の地で「久留米トライアスロン」が地元の草トライアスリートの手によって始まりました。

以来2002年まで21年間（2000-2002まで3年間は重複開催）、この草レースは地元アスリートの類希なるボランティア精神と、参加選手の高い人気に支えられ開催し続けられました。この「久留米トライアスロン」はバイクとランこそ筑後川河川敷を使っていましたが、スイムは市内のスポーツセンターを利用していました。筑後川下流域は宮入貝の繁殖によって当時遊泳禁止の川だったので。

全国的な撲滅活動の努力が実り、1990年に福岡県は安全宣言を行います。そしてその後さらに10年間の追跡調査を経て、2000年に終息宣言を受けるにいたり、泳げる水質の川となりました。

この20世紀最後の2000年という年は、奇しくもトライアスロン競技がシドニーオリンピックで初めて正式種目となった年でもありました。地元観光コンベンションからの後押しを受け、前年のテストレースを経て、スイム・バイク・ラン全ての種目を筑後川で行う「筑後川トライアスロン大会」が誕生したのです。

当初の目的のひとつは筑後川の有効活用と流域の振興というテーマでしたが、これについては選手、ボランティア・スタッフ、観戦者に多くの市民の皆さんの参加をいただいていること、またテレビ、新聞等のマスコミの報道により、筑後川の名を内外に広く知らしめることもかなりの部分で成功したと思います。

もう一つのテーマは、永い時を経て悪化してきた水環境への警鐘です。筑後川は流域一帯のみならず、導水によって遠く福岡市をも潤す、命の川です。「筑紫次郎」の愛称を持ち、一昔前は、誰もが川遊びに興じる親しみのある場所でもありました。確かに遊泳が可能になり、安全性は回復したものの、澄み渡る美しい川と呼ぶにはまだまだ、程遠いものがあります。

この大会の競技者による、もっときれいなところで、もっと澄んでほしいという思いが、さらなる水質の浄化に向かっていくのではないかという希望を持っています。安全であることはもちろん、さらに美しい水質の川へと向かうためには、流域一帯の生活者である市民の意識改革こそが何よりも重要です。大会に注目が集まり、そこに参加しあるいは観戦することによって、市民の皆さん、流域の皆さんにふるさとの環境保護の大切さをさらに認識していただくための一助になれば幸いです。

この命の川の再生が叶うとき、それは人々が水に対する大切な思いを取り戻すときなのかも知れません。特に、この大会の特長ともなっている、ボランティア参加の数多くの中学生・高校生への啓蒙は、トライアスロンという競技本来の姿が与える感動と共に、大切な命の水への意識を変えさせ、未来へ繋がる大きな財産になることと確信しています。

51.5kmという長い距離と時間をかけて競う競技の特殊性から、運営を執り行う地元有志スタッフ一人一人には、大きな負担をかけることになっておりますが、この大会が発展し、トライアスロンという自然を相手に競う競技と共に、ふるさとの水環境を注視し、命の水という大切な思いが、いつか花開く時、私たちの願いは成就するのだと思っています。

現在、競技の特殊性から限られたスタッフによって運営していますので、一人一人に大きな負担をかけることになっていきます。関係の皆さまのさらなるご理解とご支援をいただき、もう少し余裕のある、そして華のある大会をめざしていきたいと考えています。なにとぞよろしく願いいたします。

筑後川トライアスロン大会
実行委員長 岩井公一

第10回筑後川トライアスロン記念大会広告ご協賛お願い

関係各位

筑後川トライアスロン大会実行委員会
実行委員長 岩井 公一

大会広告ご協賛お願い

拝啓

初夏の侯、御社におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、わたしども久留米市及び近郊のトライアスロン関係者は、筑後川を利用した久留米市及び周辺地域の活性化のひとつとしてトライアスロン大会を開催してまいりました。

コース編成など工夫を懲らし、久留米市当局にも引き続いての開催の合意を得、本年の大会をめざして準備に入っております。

例年以上に競技内容も充実した立派な大会にしたいと考えておりますが、何分にも限られた予算の中での開催ですので苦しい状況であります。

つきましては、広く皆さま方のご協力をいただきたく、大会プログラムの広告ご協賛をお願いする次第です。別紙開催趣意書及び大会要項から趣旨をご理解いただき、ぜひともご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

第10回筑後川トライアスロン記念大会ご協賛のお願い

関係各位

筑後川トライアスロン大会実行委員会
実行委員長 岩井 公一

大会用商品ご協賛お願い

拝啓

初夏の候、御社におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、わたしども久留米市及び近郊のトライアスロン関係者は、筑後川を利用した久留米市及び周辺地域の活性化のひとつとしてトライアスロン大会を開催してまいりました。

コース編成など工夫を懲らし、久留米市当局にも引き続いての開催の合意を得、本年の大会をめざして準備に入っております。

例年以上に競技内容も充実した立派な大会にしたいと考えておりますが、何分にも限られた予算の中での開催ですので苦しい状況であります。

つきましては、広く皆さま方のご協力をいただきたく、大会プログラムの広告ご協賛をお願いする次第です。別紙開催趣意書及び大会要項から趣旨をご理解いただき、ぜひともご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

筑後川トライアスロン大会協賛申込書

会社名			
代表者名			印
住 所			
TEL番号		FAX番号	
担当者名		所属・役職	
広告は以下のように掲載する 協賛のみで広告は掲載しない	物品協賛	広告協賛	円
申込掲載面		申込スペース	ページ

申込方法 上記申込書に必要事項をご記入の上、郵送またはFAXにてお送りください。
申込先 〒839-0862 久留米市野中町982-7 イワイスportsサイクル内
 筑後川トライアスロン大会実行委員会プログラム広告係
 TEL.0942-32-6708 FAX.0942-33-9393
支払方法 大会終了後、請求書を送付いたしますので、お早めに振込をお願いします。
 振込口座：筑邦銀行本店営業部 普通 1995460
 筑後川トライアスロン実行委員会 岩井一之(イワイカズユキ)

プログラム広告要項

仕様 A4サイズ・約40ページ
製作部数 1000部
申込締切 平成21年 6月26日
原稿締切 平成21年 7月 3日必着
料金表

	掲載面	スペース	料金(円)	size(mm)	
				天地	左右
1c / モノクロ	表4	1ページ	80,000	297	210
	表2	1ページ	80,000	297	210
	表3	1ページ	80,000	297	210
	本文	1ページ	50,000	297	210
	本文	1/2ページ	30,000	127	180
	本文	1/4ページ	15,000	127	88
	本文	1/8ページ	10,000	62	88